



報道関係者 各位

平成28年11月28日(月)

【照会先】

職業安定部職業安定課

職業安定課長 里中秀文

地方労働市場情報官 原 幸典

業務補佐 近藤健一郎

(電話) 052-219-5578(内線 611)

「東海ブロック内雇用情勢報告(平成28年7～9月四半期分)」を公表します

～東海ブロックの雇用情勢をとりまとめ～

愛知労働局では、東海ブロック^{※1}の雇用情勢をまとめた「東海ブロック内雇用情勢報告(平成28年7～9月四半期分)」を別添1のとおり作成しました。これは平成28年11月15日に開催された平成28年度第3四半期主要労働局長会議^{※2}の結果を取りまとめたものです。

雇用情勢については各労働局で毎月公表しておりますが、労働行政へのニーズの高まりに対応し、東海ブロックの雇用情勢についても、「雇用動向におけるトピック」、「企業の生の声」^{※3}及び「担当窓口の声」^{※4}などを加えて四半期ごとに取りまとめ、公表することとしました。

今後も、四半期ごとに開催される主要労働局長会議の終了後に、東海ブロックの雇用情勢を公表していきます。

※1 東海ブロックを構成する都道府県
岐阜、静岡、愛知、三重

※2 主要労働局長会議とは、厚生労働省がおおむね四半期に一度、全国の主要な労働局(北海道、宮城、埼玉、東京、新潟、愛知、大阪、広島、香川、福岡)の局長を集め、各ブロックの雇用情勢等について議論する会議です。

※3 「企業の生の声」： 事業所へのヒアリング等で聞かれた企業の声の中で、地域の雇用動向に関わるものや特徴的な声を集めたものです。

※4 「担当窓口の声」： 各回に設定されたテーマに沿って、ハローワークの担当が窓口を通じて感じた声を集めたものです。

別添 「東海ブロック内雇用情勢報告(平成28年7～9月四半期分)」

東海ブロック内雇用情勢報告(平成28年7~9月四半期分)

	前期 (平成28年 4-6月)	平成28年7-9月期								比較
	雇用情勢 判断	就業地別 有効求人 倍率 【季調値】 (対前期 差) (単位:倍、 ポイント)	受理値別 有効求人 倍率 【季調値】 (対前期 差) (単位:倍、 ポイント)	新規求人 増減率 ※季調値 で見た対 前期比 (単位:%)	新規求職 増減率 ※季調値 で見た対 前期比 (単位:%)	正社員有 効求人倍 率 【原数値】 (対前年同 期差) (単位:倍、 ポイント)	雇用保険 被保険者 数増減率 ※原数値 で見た対 前年同期 比 (単位:%)	雇用保険 受給者実 人員増減 率 ※原数値 で見た対 前年同期 比 (単位:%)	雇用情勢判断	
東海 ブロッ ック	—	1.59 (0.00)	1.54 (0.00)	▲0.5	1.0	1.04 (0.14)	1.5	▲10.5	改善している	—
岐阜 県	—	1.78 (▲0.02)	1.69 (▲0.08)	▲2.4	1.1	1.19 (0.19)	1.7	▲7.1	—	—
静岡 県	—	1.45 (▲0.01)	1.35 (0.00)	0.4	1.7	0.86 (0.13)	1.2	▲13.0	—	—
愛知 県	—	1.60 (0.00)	1.62 (0.00)	0.3	1.3	1.14 (0.10)	1.8	▲10.2	—	—
三重 県	—	1.65 (0.03)	1.47 (0.06)	▲2.7	▲1.2	0.85 (0.13)	0.9	▲10.0	—	—

※ 雇用保険被保険者数については、一般、高齢者、特例被保険者の合計値。雇用保険受給者実人員については、一般被保険者の数値である。

雇用動向におけるトピック

- 宿泊、飲食サービス業では、全国に飲食店等をチェーン展開する複数の事業所からの大量求人(新規オープン及び更新求人)の提出、求人時期のズレ等により対前年同期比で12.1%増加している。
- 卸売業、小売業では、新規出店や時間帯を細分化したパート求人の増加などから対前年同期比で4.9%増加している。
- 医療、福祉業では対前年同月比5.3%、建設業で同3.1%増加しており、引き続き資格所持者を中心に人材の確保に苦慮しているとの声が聞かれる。
- 東海ブロックの基幹産業である製造業は前年同期比1.0%増で底堅い動きとなっている。
- なお、中国経済を始めとした新興国等の景気減速や英国のEU離脱問題、為替相場の円高基調が国内の雇用情勢に及ぼす影響については、懸念する声は聞かれるものの、雇用への直接的な影響については聞かれていない状況だが、これら収益の減少に繋がる諸問題が長期化し、雇用に影響を及ぼす懸念があり、引き続き注視が必要と思われる。

企業の生の声

- 好調の声
 - ・秋入社(10月)の正社員求人(総合職)が大量に出され全体を押し上げた。(総合スーパー業)
 - ・売り上げが好調なため、年内を目途に工場ラインを増やし正社員を中心に増員したい。(自動車部品製造業)
- 不安の声
 - ・仕事量は増えているが、製品やサービスの単価が上がっていないため、利益が少なく人件費を抑制したい。(製造業)
- 人材確保に対する声
 - ・隣接県との最低賃金の格差が大きく、企業と求職者(労働者)に間でミスマッチが生じている。(宿泊業・飲食業他 複数)
 - ・一般求人では人が集まらないので、高卒求人を出したい。(建設業)

マザーズハローワーク・マザーズコーナー 担当窓口の声

- ①就職に結びつきやすいと感じる求職者
 - ・働く目的を持っている求職者
 - ・資格(看護師、介護士、保育士、薬剤師等)を有する求職者、経験を活かした職種を希望する求職者。
 - ・子供の預け先が決まっている求職者
- ②就職に結びつきにくいと感じる求職者
 - ・未経験職種を希望する求職者
 - ・子供の預け先(保育園等)が決まっていない、育児の協力者がいない等の求職者。
- ③求職者が就職活動において重視している要素
 - ・子供の就学、入園時期等に合わせ4月から働ける事業所。子供の急病時や学校行事での休暇取得に理解のある事業所。自宅ー保育園等ー事業所の通勤時間を重視。
 - ・夫の扶養範囲内での就業。
- ④最近の求職者の特徴的な動き、その他
 - ・被用者年金保険等の適用拡大を受け、収入を扶養範囲内(月8万円程度)か、最低でも15万円以上かの二極化傾向。
 - ・来年度の保育園入園申請が10月に始まり、29年4月から働きたいとの希望者が増加傾向。